

おお大勝利

平成 31 年度／令和元年度 山東サッカー一部報第 12 号 (10 月 11 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2A 最終節、地区新人、進学校大会一挙報告

顧問今野の怠慢により、またまた部報作成が滞っておりました。選手権開幕を前にして、一挙にご報告いたします。

まず、9月14日(土)地区新人戦。地区からの出場枠が減ったという事情もありますが、山東はここ2年県新人に抜けていない。3年ぶりの県新人出場なるか。一回戦の相手は、リーグ戦で惨敗した山形明正。その試合はスコア的にも内容でも、まったく及ばなかった。リーグ戦で明正に2連勝の山形中央Bにはかなり良い試合をしたのに、明正には全く、持ち味の一つの粘りのある戦いができなかった。新人同士の対決はどうか。

場所は当然山形明正G(人工芝)。2年ヒラマサ・ハク・ナカノなど故障がちだった選手も、この試合に合わせてきた。試合は明正ペース。というか、山東は攻撃で決定機を作れないのに対して、明正は伸び伸び攻撃している。個々に、チームで、ボールを奪われないスキルと状況判断が、明正の選手に落ち着きを与えている。山東は、関わりがないというか、ボールを相手に奪われないことに精いっぱい、ボールを味方に出した後で次の動きに入っていない/次の展開を読んだプレーになっていない。だから、攻撃はいつも個の突破頼み¹。そして、それも囲まれるから焦る。そう、山東、落ち着いてプレーできていない。観ている方も、「ここでは/これならボールを奪われることはないな」と安心して観ていられる時間があまりにも少ない。この両者の違いは、スコアには現れなくともサッカー選手としての成熟の差として歴然。結果として、GKとDFの連係ミスにより失ったもったいないミスにより0対1で敗れますが、明正の勝利はまさに順当。選手を育てきれていないと感じる試合となりました。

これで山東は3年連続で県新人行きを逃す。過去2年は最後1試合勝てば、という決定戦まで行って敗れていたもので、今年は特にあつけないとも言えるが、悔しさも「実力があるのに行けない悔しさ」ではないので、正直サバサバしたもの。「もっと良いサッカーがしたい」とは強く思いました。

その翌週9月21日(土)はY2A最終節酒田東戦。酒東は最終節を前にして勝ち点1しか得られず、降格が決定している。やはり進学校は3年生がいる県総体までのうちに勝ち点を稼いでおかないと苦しい。Y2Bでも最下位で降格するのは進学校の米沢興譲館。場所は山形明正G。

さて、山東、パスを回してくる相手には粘り強いディフェンスで良い試合ができるものの、下手に自分たちがボールを保持できると逆に相手に粘り強いディフェンスからのショートカウンターを許してしまう傾向あり。この試合がまさにそう。奪われていけない場所でも平気で奪われるものだから、といっても本人たちはいたって一生懸命にやっているのだが、奪われないために必要なスキルを欠くものだから、奪われないプレーをする場所とリスクを冒して良

¹ パスがいつも「あとはお前に任せた」というメッセージにしかなくなってないと感じることが多い。

い場所でのプレーの選択ができない。そう、選択肢を持ってプレーしている者に対してだけ、「どうしてそのプレーなんだ（そのプレーを選ぶのだ）」という発言が意味を持つ。前半あっけなく DF が裏を取られ、あっけなく失点。あの直線的な攻撃で失点してたら、どのチームの攻撃にだって失点してしまうでしょう。正直、「ここまでか」とガックリ来てしまいました。後半、2年主将コウダイの「前にいる奴らを弾き飛ばす」かのようなパワフルな突破からのセンターリングを、2年ヒラマサが頭で上手く合わせ、同点にする。ヒラマサはパワーもスピードもあるのだから、得点を取ることに特化したような選手を目指せば、もっと活躍できる（はず）。しかし、その後、決定機を外しまくり、結局 1-1 の同点のまま試合終了。確かにもっと得点できた試合で引き分けはもったいないが、そもそもあんな悪い前半をしてしまうことが問題だし、後半も得点し他にも決定機を作ったとはいえ、あわや失点という逆決定機も作られており、負けもあり得た。非常につたない最終戦となりました。3年オサはテスト勉強のし過ぎか、後半足が痙攣し、途中退場。オサ、勉強頑張ったんだね！

10月5日（土）と6日（日）は恒例の進学校大会。なんと今年、10回を迎える記念大会となった。この大会、当時酒田東高校監督の石川先生と山形南監督の良二先生とが、「山東が呼びかけて、進学校大会開いてよ」と発案したことから始まる。第1回の開催において、公務で欠席されたが石川先生からご祝儀を頂戴し、他に使う当てがないからと中身はお返しし、袋だけ頂戴した思い出がある。その石川先生が第2回の開催を待たずに急逝されたのは、本当に悲しい出来事だった。というので、私の中では進学校大会が来ると石川先生を思い出すのです。

さて、進学校大会は昨年の第9回から福島県の安積高校をお招きし、全7チームで開催。安積がディフェンディングチャンピオンなので、今年は山形勢が踏ん張りたい。折しも、夜はラグビーワールドカップの日本対サモア戦があり、昼も夜も楽しいことだらけ。山東はAで選手権で試したいことをいろいろ経験でき、非常に有意義な戦いだった。Bは興譲館と混合チームだったが、それぞれが自分の課題に向き合うことができた大会となった。

残念だったのが、初日に2年ウエマツがヘディング時に相手の額が目じりに当たり、ぼっこり腫れてしまい、出血もあった。骨折の可能性もあり、念のため救急搬送してもらった。結局骨折はしておらず大事には至りませんでした。その日宿泊もできずウエマツは悔しかったことでしょう。ヒラマサもせっかく鶴南戦で気持ちよく得点し、「これで選手権に向け乗るか」と思った矢先、ひざを故障してしまう。選手権1週間前の故障は（チーム・本人両方にとって）痛い。結局今年の優勝は全勝の山形南となりました。おめでとうございます、というか、進学校の皆さん、選手権頑張りましょう、ということになりますかね。この大会、伊藤トレーナーが助手？の人を連れて来て下さり、故障が多かった山東を中心に本当に助かりました。ありがとうございました。

選手権の応援よろしくをお願いします。台風の影響で日程の変更がありました！

1時間早まりました

10月12日（土）選手権1回戦 上山明新館戦 10:00 キックオフ @上山明新館 G
それに勝つと 14日（月） 2回戦 山形商業戦 11:00 キックオフ @同上

13日順延で14日に変更となりました

その影響で、芋煮会が中止となりました

皆様にご連絡 良いお話と業務連絡

- ①まず良いお話から。現在サッカー部の顧問をして下さっている御船先生と小池コーイチが今年の教員採用試験に合格いたしました！ すばらしい！！ サッカー部員も見習って勉強しなさい。
- ②公式戦の駐車にお気を付けください。ボールが当たって自家用車が破損しても、補償先はどこもありません（大会で入っている物損の保険も対応ができないとのこと）。